

第27回
日本保育保健学会
inぎふ

プログラム集

コロナ
スマホ時代の
子育てを考える



会期

2021年

5月22日(土)~23日(日)

会場

Web開催

会頭

矢嶋 茂裕

(矢嶋小児科小児循環器クリニック 岐阜県小児科医会 会長)



ご挨拶

コロナ時代の子育てを考える

第27回日本保育保健学会

会頭 矢嶋 茂裕

矢嶋小児科小児循環器クリニック

岐阜県小児科医会会長



第27回日本保育保健学会を岐阜市で開催させていただくことになりました。

この抄録集をお届けするにあたりお詫び申し上げなくてはならないことが多々あります。

会場は二転三転し、ついには完全 web 開催となりました。当初予定していました岐阜市の長良川国際会議場は本学会には立派すぎる施設でしたが、それに負けないようにまずは従来通りの開催を目指して準備にとりかかりました。しかし新型コロナウイルスの感染拡大により、通常開催は不可能であろうと判断し、費用面からも大学の施設をお借りすることとしました。ところが web 配信に不可欠な通信インフラに問題が発覚し、開催が迫る中での会場変更となりました。さらには感染拡大が第4波に入り首都圏、関西圏で緊急事態宣言が発出される状況となり万事休すとなりました。医療関係者へのワクチン接種も遅々として進まず、安心、安全な学会開催が困難な状況となりハイブリッド開催を断念して web 開催のみへと変更せざるを得なくなりました。

前年度の第26回は山口県において開催されるはずでしたが、新型コロナウイルス感染の拡大により中止となりました。たいへんすばらしい企画であり、金原会頭はじめ関係者の皆様はたいへん無念であったと推察します。そのリベンジと思って企画しましたが、金原会頭の企画には到底かなわないものになってしまいました。

当初はスマホ時代の子育てを考えようと企画しましたが、新型コロナを抜きにして学会を考えることはできない状況になり、コロナ時代の保育を考える、と変更しました。そしてあわよくばポストコロナの学会にならないかと期待しましたが、あえなく期待とは正反対の状況になってしまいました。

保育の現場は保育士と子どもたちの濃厚な接触が基本です。それが新型コロナにより邪魔され、日々、緊張した日々が続いていることと思います。スマホ時代には子育ての情報が簡単にネットから入手できますがそれは本当に正しい情報なのでしょうか。スマホを見つめる子どもたちは健康に育っていけるのでしょうか。ネットにある情報は必ずしも正しくないことが多いと思います。いろいろな視点からヒントが得られるように講師をお願いし、後半で新型コロナウイルス感染による風評被害とその対応を中心としたシンポジウムを企画しました。

本学会は保育士と医療関係者がコラボする学会であり研修の場としては非常に有意義な学会と思います。来年は北海道で開催されることが決まっていますが、今回のような混乱なく開催され、多くの方々と語り合える学会になることを期待しています。

タイムスケジュール

ライブ配信

1日目	
12:30	12:30~ 受付開始
13:00	13:00~13:05 開会式
	13:05~13:35 会頭講演 尽きることのない感染症との戦い 座長：古田 博文（第28回日本保育保健学会会頭） 演者：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック、岐阜県小児科医会会長）
14:00	13:40~14:20 会長講演 今どきの子どもたちというより大人たちも — 園・地域の子どもたちとともに — 座長：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック、岐阜県小児科医会会長） 演者：三浦 義孝（日本保育保健協議会 会長）
15:00	14:40~15:40 特別講演1 発達障害 幼児の抱える困難さの理解と対応 — 集団と個の関係に注目して— 座長：西村 悟子（さくらこどもリハビリクリニック 副院長） 演者：安田 和夫（岐阜聖徳学園大学教育学部 教授）
16:00	16:00~17:00 特別講演2 アレルギー ひやりはっつ事例から学ぶ食物アレルギー対応 座長：寺本 貴英（寺本こどもクリニック） 演者：近藤 康人（藤田医科大学ばんだね病院小児科 教授）
17:00	

※休憩時間に一般演題の紹介ビデオを流します。

2日目	
8:30	8:30~ 受付開始
9:00	9:00~9:40 教育講演1 （園で話せない）場面緘黙の理解と対応 座長：福田ゆう子（ふくだこどものこころのクリニック） 演者：金原 洋治（医療法人社団かねはら小児科）
10:00	9:50~10:25 教育講演2 幼児期の靴選びが生涯歩き続けるための足を作る 座長：有川 一（中部学院大学 スポーツ健康科学部 教授） 演者：塩之谷 香（塩之谷整形外科 日独小児靴学研究会 日本フットケア足病医学会）
11:00	10:30~12:20 シンポジウム 新型コロナにどう対応したか 座長：内田 靖（中濃厚生病院 副院長兼小児科部長） ターリンブル親子（中部学院大学短期大学部 教授） 11:00 変異ウイルス流行拡大下での対応 ～子ども達の心身の健康を守るため（仮） 演者：森内 浩幸（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・小児科学 教授） 風評被害から守るために、本当に必要なものは何か 演者：加藤 隆浩（社会福祉法人花園福祉会 理事、 社会福祉法人花園福祉会 花園保育園 副園長） 子どもたちの日常を取り戻すために 演者：種市 尋宙（富山大学学術研究部医学系小児科学）
12:00	12:00 園医としての対応について —園医は今こそ園に行こう！— 演者：岩田 祥吾（南寿堂医院（院長） 静岡県小山町立 するがおやまこども園（園医）
13:00	12:50~13:20 委員会報告
14:00	13:30~14:20 共催セミナー 保育園は弱視を発見できる最適の場所 座長：大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科小児科学分野 教授） 演者：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック、 岐阜県小児科医会会長） 共催：ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社
	14:20~14:25 次回（第28回）大会 会頭挨拶
	14:25~14:30 閉会式
15:00	15:00~17:00 特別企画 先天性風疹症候群 当事者が語る 演者：可児 佳代（風疹をなくそうの会 [hand in hand] 会長） 木村まち子（「隠えない世界に生きて—沖縄風疹児55年間の軌跡」著者） ドキュメンタリー上映 「とみ先生と風疹児たち」

プログラム

ライブ配信

第1日目 5月22日(土)

13:05～13:35 会頭講演

座長：古田 博文（第28回日本保育保健学会会頭）

尽きることのない感染症との戦い

演者：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック、岐阜県小児科医会会長）

13:40～14:20 会長講演

座長：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック、岐阜県小児科医会会長）

今どきの子どもたちというより大人たちも

— 園・地域の子どもたちとともに —

演者：三浦 義孝（日本保育保健協議会 会長）

14:40～15:40 特別講演1 発達障害

座長：西村 悟子（さくらこどもリハビリクリニック 副院長）

幼児の抱える困難さの理解と対応

— 集団と個の関わりに注目して —

演者：安田 和夫（岐阜聖徳学園大学教育学部 教授）

16:00～17:00 特別講演2 アレルギー

座長：寺本 貴英（寺本こどもクリニック）

ひやりはっと事例から学ぶ食物アレルギー対応

演者：近藤 康人（藤田医科大学ばんだね病院小児科 教授）

第2日目 5月23日(日)

9:00～9:40

教育講演1

座長：福田ゆう子（ふくだこどものこころのクリニック）

(園で話せない) 場面緘黙の理解と対応

演者：金原 洋治（医療法人社団かねはら小児科）

9:50～10:25

教育講演2

座長：有川 一（中部学院大学 スポーツ健康科学部 教授）

幼児期の靴選びが生涯歩き続けるための足を作る

演者：塩之谷 香（塩之谷整形外科 日独小児靴学研究会 日本フットケア足病医学会）

10:30～12:20

シンポジウム 新型コロナにどう対応したか

座長：内田 靖（中濃厚生病院 副院長兼小児科部長）

ダーリンブル 規子（中部学院大学短期大学部 教授）

変異ウイルス流行拡大下での対応～子ども達の心身の健康を守るため(仮)

演者：森内 浩幸（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・小児科学 教授）

風評被害から守るために、本当に必要なものは何か

演者：加藤 隆浩（社会福祉法人花園福祉会 理事、
社会福祉法人花園福祉会 花園保育園 副園長）

子どもたちの日常を取り戻すために

演者：種市 尋宙（富山大学学術研究部医学系小児科学）

園医としての対応について - 園医は今こそ園に行こう！ -

演者：岩田 祥吾（南寿堂医院（院長） 静岡県小山町立するがおやまこども園（園医））

13:30～14:20

共催セミナー

座長：大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科小児科学分野 教授）

保育園は弱視を発見できる最適の場所

演者：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック、岐阜県小児科医会会長）

共催：ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社

15:00～17:00

特別企画

先天性風疹症候群 当事者が語る

演者：可見 佳代（風疹をなくそうの会『hand in hand』会長）

木村まち子（『聴こえない世界に生きて一沖縄風疹児55年間の軌跡』著者）

ドキュメンタリー上映 「とみ先生と風疹児たち」

オンデマンド配信

5月22日(土)～5月23日(日)

一般演題(口演)

演題番号	演題名・演者氏名・所属
O-1	幼稚園保護者が受講した前向き子育てプログラムの効果 藤田 一郎(福岡女学院大学人間関係学部こども発達学科)
O-3	保育所における食事提供体制 実態調査の報告 原 正美(京都光華女子大学 健康科学部)
O-4	北海道における保育園での安全対策について 吾田富士子(藤女子大学)
O-5	クリニック併設の小規模認可保育所における食物アレルギー児への対応 西村 龍夫(にしむら小児科 小規模認可保育所つくし)
O-6	携帯型屈折検査機器を用いた園への訪問検査～「弱視」を見逃したまま卒園していませんか?～ 神谷 友美(病児病後児保育室うりぼう)
O-7	保育園に通う幼児のテレビ視聴終了時刻と生活習慣との関係 泉 秀生(東京都市大学)
O-8	5歳児発達相談における多職種協働 ～子どもの全体像を繋げる専門家の視点～ 太田 列子(よしとみクリニック)
O-9	江田島市における保育保健活動活性化の試み 一年間計画の見直しから保護者との連携まで～ 七木田方美(比治山大学短期大学部)

一般演題（ポスター）

演題番号	演題名・演者氏名・所属
P-1	食物アレルギー児へのリモート食育の実践と効果の検証 株村 春江（名古屋学芸大学 管理栄養学部）
P-2	保育所を対象とした食物アレルギー研修の有用性 真方 浩行（まかたこどもアレルギークリニック、山口県小児科医会 園医・学校医活動に関する委員会）
P-3	新型コロナウイルス感染症流行下の札幌市認可保育園の現状 楠 幸博（札幌市乳幼児園医協議会）
P-4	2020年4月に開園となった私立認可保育園における新型コロナウイルス対策の実践報告と職員意識変容について 明石かえで（社会福祉法人こころ福祉会 みたかこころ保育園）
P-5	新型コロナウイルス流行下における幼児の生活習慣の実態と課題—登園自粛期間中の登園する幼児と在宅する幼児— 阿部 玲子（早稲田大学大学院）
P-6	無料動画配信を使った心肺蘇生法の学習コンテンツと課題 久保 恭子（東京医療保健大学立川看護学部看護学科）
P-7	保育施設における急変・事故時の対応と経験年数との関連 藤原 悠香（福岡大学医学部看護学科）
P-8	保育士養成課程における教育実践～「多様な親子の関わり場面」から子どもの健康と安全を考える～ 益川 順子（宇都宮短期大学人間福祉学科）
P-9	衛生面を踏まえた教授方法の振り返り -科目「乳児保育Ⅱ」におけるName tag creationを通して- 谷川 友美（別府大学短期大学部初等教育科）
P-10	フランスのl'école maternelle（保育学校）におけるATSEMの役割—養護の観点から— 大庭 三枝（福山市立大学）
P-11	保育内容の総合的指導法「健康」における授業内容の検討 井狩 芳子（和泉短期大学児童福祉学科）
P-12	小児慢性疾患児が入園するための『就園のための情報共有シート』の作成 西田みゆき（順天堂大学保健看護学部）
P-13	幼児期における遊びの起点に関する研究—ボールの感覚的なとらえに着目して— 大庭 三枝（福山市立大学）
P-14	当院における病児保育室利用に関するアンケート調査 上田 達哉（医療法人くれよん うえだこどもクリニック）
P-15	タッチケア導入による患児とその家族の変化について 岩瀬 好美（若月こどもとアレルギーのクリニック）
P-16	保育士による子どもの姿勢評価に関する調査～運動能力測定値と姿勢制御機能を指標として～ 猪俣 陽子（社会福祉法人愛稚会 翠松保育園）
P-17	宮古島幼児の生活習慣の実態と課題—就寝時刻と夜間の活動内容に着目して— 照屋 真紀（早稲田大学）
P-18	田中ビネー知能検査V施行が応用行動分析（ABA）への実践につながり、良好な経過をもたらした母子の一例 佐久間秀人（医療法人クラプトン 佐久間内科小児科医院）